

本件は、大阪府政記者会、大阪市政記者クラブ、吹田日刊記者クラブに同時資料提供を行います。

報道関係各位

生きているミュージアム NIFREL

《生きもので冬にふれる》小さくてかわいい「イイダコ」を展示 実は2,000年以上前から馴染み深い生きものです



大阪府吹田市「EXPOCITY」の生きているミュージアム「NIFREL（ニフレル）」では、館内1階「わぎにふれる」ゾーンにて、イイダコ(8匹)を、2021年12月20日(月)から2022年2月下旬までの期間限定で展示いたします。

イイダコは、東アジアの浅い海に生息するタコの仲間で、国内では北海道南部からの各地の沿岸域に広く分布しています。胴(頭のように見える部分)の大きさは約5cmで、腕を広げても全長約30cmと、タコの中では小型の種類です。イイとは「飯」のことで、卵の塊がご飯粒のように見えることからこの名がつけました。冬から春にかけて産卵期を迎え、卵を抱えたメスが“子持ちダコ”の名で、この時期の味覚として古くから親しまれてきました。メスは産卵後、卵が孵化するまで保護し、孵化後そのほとんどが一生涯を終えます。

また、イイダコは特に大阪府や兵庫県と非常に古くからつながりの深い生きものです。大阪府和泉市や泉大津市、兵庫県明石市や尼崎市、淡路島など、大阪湾周辺に点在する2,000年以上前の弥生時代の遺跡から、イイダコ漁に使われたと考えられる小さなタコつぼが多数発掘されています。

今回展示するイイダコは2021年11月中に大阪府阪南市の西鳥取漁協にて採集されたもので、ニフレルでイイダコを展示するのは今回が初めてとなります。



大阪府和泉市・泉大津市の池上曾根遺跡にて発掘された弥生時代のイイダコつぼ
(協力:大阪府立弥生文化博物館)

【イイダコの展示について】

《展示期間》2021年12月20日(月)～2022年2月下旬予定

《展示場所》1階「わぎにふれる」ゾーン

《展示数》8匹(生きものの状態により変更する場合があります)

《お問い合わせ》ニフレルインフォメーション TEL:0570-022060(ナビダイヤル)

【取材・撮影のご案内】

本展示に関する取材・撮影をご希望の方は、下記までご連絡ください。

NIFREL(ニフレル) PR・広報担当 田井、西前

TEL:06-6876-2204 FAX:06-6876-2235 MAIL:nifrel.pr@nifrel.jp



《生きているミュージアム『NIFREL』施設概要》



- 名 称： NIFREL（ニフレル）（館長：小畑 洋）
- 運 営 会 社： 株式会社海遊館（大阪市港区、社長：三輪 年）
- 所 在 地： 吹田市千里万博公園 2-1 EXPOCITY 内ニフレル
- 営 業 時 間： 平日 10：00～18：00 土日祝 9：30～19：00（最終入館は閉館の1時間前）
： ※状況により変更する場合があります。
- 休 館 日： 年中無休。 ※年に1回設備点検のための臨時休業あり。
- 施 設 内 容 8つのゾーン【いろにふれる、わざにふれる、およぎにふれる、WONDER MOMENTS、かくれるにふれる、みずべにふれる、うごきにふれる、つながりにふれる（生きもの約150種・約2000点）】
： ピクニックカフェ「EAT EAT EAT」（200㎡・112席）、ミュージアムショップ（NIFREL×NIFREL）
- 入 館 料 金： 大人（16歳以上）・高校生 2,000円、小・中学生 1,000円、幼児（3歳以上）600円
- 交 通： 大阪モノレール「万博記念公園駅」徒歩2分
- 駐 車 場： 約4,100台（EXPOCITY全体用駐車場）
- 構 造 規 模： S造（一部SRC造、RC造）3階建
- 建 築 面 積： 約3,500㎡（約1,060坪）
- 延 床 面 積 約7,200㎡（約2,180坪）
- ※ 公式ホームページ <https://www.nifrel.jp>
- ※ ツイッター https://twitter.com/nifrel_official
- ※ Facebook <https://www.facebook.com/nifrel.jp>
- ※ インスタグラム https://www.instagram.com/NIFREL_OFFICIAL